

# 働き方改革

ものづくり企業  
スタッフ研修

# リーダー研修

## 【研修のねらい】

本研修では、昨今、必然性が謳われている「働き方改革」について認識と理解を深めるとともに、管理職やリーダーの皆様へ、管理するチームの生産性向上および残業の削減の実現を考えていただきます。

## 【開催日時】

平成30年

10月23日(火)

10:00~16:45

## 【会場】

横手市交流センター  
Y<sup>2</sup>びらさ 3階 研修室3  
横手市駅前町1番21号 Tel: 0182-32-2418

## 【定員】

20名程度

応募者多数の場合は、受講者および  
受講人数などを調整させていただきます。

## 【講師】

㈱インソース 講師

にしかわ

まなぶ

西川 学 氏

## 《プロフィール》

- 1993年 大手高級ホテルに入社  
宿泊販売部門に配属となり、国賓・VIPの接客、宿泊部門の販売企画、宿泊商品の販促業務を担当。
- 1997年 人事部人事開発課に異動。新たな人事評価制度の導入を企画し、担当者として全部門、全階層の評価基準を作成。説明会を開催するなど新人事評価制度を社内に周知するとともにケーススタディを使用した考課者訓練を実施。
- 2001年 経営企画部門に配属され、ブランドの再定義に基づく大規模改修プロジェクトを担当。  
ブランドの再構築、経営計画立案に携わり、経営施策を現場レベルで遂行するための現場サポートと調整を行う。
- 2006年 人材育成部の課長に就任。  
全社の管理職・リーダークラスを対象に、職場運営に関する相談および問題解決のサポートを実施。若手社員やスタッフに対しては、メンタルサポートやキャリア相談も行う。  
外部企業の依頼を受け、「ホスピタリティ」「人材育成」等をテーマに講演や研修を実施。
- 2013年 内部統制部課長に就任し、管理職のリスク管理とコンプライアンス意識の向上に取り組む。

会員企業  
受講料  
無料

【秋田県南工業振興会】

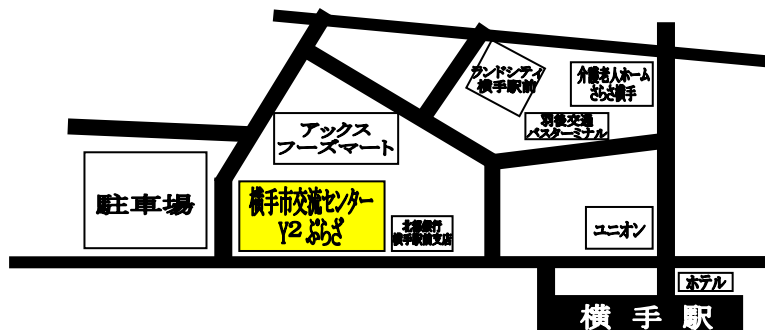
裏面が、プログラムになっております。

# プログラム

内容	手法
<p><b>1. 働き方改革で求められている「チームの生産性向上」</b>            (1)働き方改革で、管理職のリーダーシップが試される            (2)「働き方改革」の背景にあるもの            (3)企業サイトの論理～生産性向上の至上命題            (4)働き方改革で変わるリーダーの役割                ①限られた資源で最大の成果を上げる                ②部下お追い詰めず、生産性向上を追及する</p> <p><b>2. 仕事密度を上げるチームマネジメント</b>            【ワーク】チームマネジメントを行ううえで、難しいと思うことを共有する            (1)良いマイクロマネジメントが仕事密度を上げる            (2)PDCA サイクルで確実な成果につなげる            【参考】「やむを得ない残業」と「悪い残業」</p> <p><b>3. リーダーの采配で、チームの成果が決まる(PLAN)</b>            (1)生産性を向上させる3つのプランニング                ①全体最適の業務配分（誰が・何を）                ②仕事の標準化・ルールづくり（どのように）                ③チームの行動管理（いつやるのか）            (2)全体最適の業務配分＜誰が・何を＞                ①部下の業務能力を正確に把握する ②部下のタイプを知る                【ワーク】自部署で必要なスキルを洗い流し、メンバーの能力を○△×で評価する                【ワーク】部下を「意欲」と「スキル」で分類する                ③【ワーク】これまでの内容を踏まえ、部下に適した仕事を考える            (3)仕事の標準化・ルール作り＜どのように＞                ①標準時間設定によるスキルアップ促進                【ワーク】ルーティンワークについて、標準時間とその根拠を確認する                ②突発業務も標準化に努める【参考ワーク】よく起こる突発業務と対応の検討                ③情報を見える化する【ワーク】朝礼の内容について話し合う                ④業務フローの見える化による改善推進            (4)チームの行動管理＜いつやるか＞                ①30マス計画表で、チームの動きをプライニングする                【ワーク】チームで取り組むことで生産性が向上する業務を考え、週間計画を作成                ②日次計画表 ～優先順位のつけ方</p> <p><b>4. 仕事を一気に進める、メンバーの動かし方(DC)</b>            (1)メンバーを迷わせない指示を出す            (2)上司自ら、部下の成果を確認する ～報告・連絡・相談待ちの仕事はしない            (3)D(実行)に「勢い」をつける                ①勢いをつける部下の動かし方 ②変革に勢いをつける部下育成・指導                【ワーク】勢いをつけるためにすることを考える</p> <p><b>5. あるべき姿を追う(CHECK・ACTION)</b>            (1)日報、週報、月報の活用            (2)部下の成長を促すフィードバック ～ほめ方・叱り方            (3)言いにくいことを言い換える                【ケーススタディ】毎日深夜まで残業している部下のAさん</p> <p><b>6. まとめ</b>            【ワーク】明日からの行動を考える                ①生産性向上のためにすること ②生産性向上の障壁は何か、どう乗り越える</p>	<p>講義 個人 ワーク グループ ワーク</p>

# 会 場

横手市交流センター Y<sup>2</sup>(わいわい) ぷらざ  
(横手市駅前町1番21号 TEL: 0182-32-2418)



# 受 講 料

■会員企業負担金 無 料 ■会員以外企業負担金 一人 15,000円

※会員以外企業の負担金は、一人 15,000 円です。但し、当会に加入される場合、受講料は無料となります。加入については、秋田県南工業振興会のホームページをご覧なるかまたは、事務局までお問い合わせください。

※負担金につきましては、秋田県南工業振興会より請求書を送付いたします。送付後、納入くださいますようお願いいたします。

# 申 込 方 法

別添の受講申込票にご記入の上、FAX等にて秋田県南工業振興会事務局まで、お早目にお申込みください。

(申込期限：10月15日(月)まで)

原則として、1社3名までとさせていただきますが、参加者多数の場合、2名とさせていただきます。

お問合せ先

秋田県南工業振興会事務局

〒013-8502

横手市旭川一丁目3番41号

横手市商工観光部 商工労働課内

電話：0182-36-2384 FAX：0182-32-4021

裏面が、受講申込書になっております。

秋田県南工業振興会 事務局宛  
FAX 0182-32-4021

※10月15日(月)までお申し込みくださいますようお願いいたします。

【当振興会ホームページの申込フォームからでもできます。】

※原則として、1社3名までとさせていただきますが、参加者多数の場合、  
2名とさせていただきます場合があります。

## 10/23開催 働き方改革リーダー研修 受講申込書

平成30年 月 日

貴社(団体)名：		
所在地：〒	TEL:	
	FAX:	
部署・職名	(ふりがな) 参加者氏名	年齢

【申込担当者】 部署 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_